京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年 紀元二千五百七十一年
定價 本紙一枚金二錢 一ヶ月前金三十錢 三ヶ月前金九十錢 六ヶ月前金一圓八十錢
廣告料 五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久[illegible]一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

東京だより

◎露國と清國との關係は再度まで切迫の觀を呈し、人をして屢々寒心の間に迷はしめたるが、終に去月二十七日を以て清國政府は露國の最後通牒に對し、全然同國の要求を容れ、茲に無事落着を見るに至り候。

◎露清二國は我國と密接の關係有之、其和戰は極東全般の利害に影響する所不尠候。然るに兩國間に不祥なる事を釀さずに至らざりしは深く吾人の喜ぶ所に候。

◎元來今回の露清交渉は千八百八十一年の伊犁條約實行上の問題にして、敢て特別なる新事件と稱する程のものに無之、又紛議の中心とされるものも、第一、科布多外二市に領事館を設ける事、第二、伊犁及蒙古方面に於ける貿易を自由にし、且中華國產茶買賣を廢止する事の二點に過ぎず候。清國より見れば孰れも利害の影響小なるにあらざるも、斯る種類の問題のために戰爭の危險を冒すは愚の極に候。況んや條約の文面上清國の讓步を至當とするものあるに於てをや。

◎清國人中には、今回の事件に對して大に慨憤し、或は種々の運動を企てたるものすら有之候。吾人は盡日通信致し候際申述べたる如く、其愛國の熱誠には大に同情を寄せ候へども、徒らに紛爭を構ふるは、決して清國の利益には候はず、條約に不備の點有之候ものとせば、唯不幸と諦めるの外無之候。忍ぶべきを忍び、讓るべきを讓り、以て外交上の不和を維持し、內政整頓の改善に力を盡すこと、清國今日の急務なりと、吾人は相信じ候。

◎清國は國家組織上の根本法すら未だ確定せず、中央統治機關の甚だ不完全なる上に、地方政務は不整頓を極め、中央政府の政令は邊境地方に行屆かず、之れが爲に自然外國との紛議を誘起し易く、是等の邊境多事なるも、多く之が原因をなすものに候。

◎伊犁蒙古地方の如きも、一先づ平穩を維持することゝなれるも、今後に於ける清國政府の措置宜しきを得されば、新しき紛議又もや再生するこそ必然に候。面して又は西藏に於ても雲南國に於ても同じく、實に北京政府の考ふべき事に候。

◎清國目下の急務は、唯冷靜に且着實に自强の途を圖ることに有之候。今回露國に對する清國の外交振を見るに讓步の已むを得ざるを認めながらも、猶ほ始めて尊大の風を裝ひ、虛榮自ら喜ぶの跡無きに非ず、こは歐洲に於ける土耳古式外交として唯世間の笑を招くに過ぎず候。

◎吾人は東洋同文の善隣國として清國の前途に憂ふる所多し、且又自國の利益よりするも、清國の內治改善實績に[illegible]これに因り東洋の幸福と平和とを永く維持し度寤寐忘れざるものに候。(ろ生)

◉福岡の漁業獎勵成績

四十三年度に於て福岡縣が水產業獎勵の爲め漁船改良に對し造船補助費を給したるは宗像十三、山門八、柏屋四、小倉四、糸島二、遠賀二、計三十三隻にして其程度は六尺形一七、七尺形一七、八尺形一二、石油發動機船三隻、し漁船の改良は遠洋漁業の發展に伴ひ益々其艤巾を大にし本年に至りては石油發動機漁船或は帆船を見るに至り普通の漁船も大形船を使用する續出せり良期出漁として朝鮮各根據地に移住せるものは京都一七、糸島一〇、鐘上七、早良六、山門五、宗像三、遠賀三、三潴二、粕屋一、計五十四戶にして其移住地を示せば長承浦二四、多太浦一、太邊二、方魚津二〇、群山三、龍山三、木浦一とし之を創始以來毎年度の移住戶數と對照するに三十八年度二〇、三十九年度二六、四十年度五、四十一年度一四、四十二年度四十三戶となり之を本年度の五十四戶の多數に比すれば追年發展の機運に向ひつゝあるを見るべしと

●長野に於ける宋子爵

目下內地漫遊中なる宋秉畯子は朴啓一、呂祚、崔德達、李寧國、金桂淡、梁亭善、徐帶の各朝鮮人及び鐵道學校長岩倉友定氏外內地人六名と共に去月三十日夜大宮より上田町に至り上村旅館に一泊三十一日二番列車にて諏訪に向ひたり子爵今回の旅行は長野縣諏訪地方製糸業の實況視察にして同諏訪出身小口慎太郎氏是が案內者なりと

外事一束

△恐怖 米國下院外交委員は日英同盟は英米兩國間仲裁條約とは不相容す。
△爲に 仲裁條約の締結に障碍を來さんとするの疑よりとて專ら研究中也。
△是は 將來米國が日本に對し宣戰するの場合英國が同盟國として日本を援助するの止むを得ざる境遇に陷らんことを恐怖して也とも亦推測。
△米國 駐剳英大使大統領タフト氏と日長時間の會談何事を議せし乎。
△內亂 土耳古領アルバニャの內亂益々擴展重大なる地方的事件となれり。
△辭職 西班牙內閣は辭職せり其原因は叛亂首魁處刑宣告勸諭提議の爲也。
△佛國 大統領は和蘭女皇陛下の招待に應じ七月中海路和蘭首都訪問の筈。
△奉天 に於ける防疫會議列席各國委員は墨西哥を除く外他は悉く列着す。
△北里 博士は二日夜奉天大和ホテルに列國醫師と招待盛大の晩餐會開催。
△淸國 外部右丞施肇基は奉天滯在中日淸國境につき調査を命ぜられたり。
△支那 新聞東三省日報列國防疫會に歡迎の辭と共に鼠疫新療法發見を望む。
△安奉 線鐵道中第一の隧道たる鷄冠嶺隧道は去二日全部の貫通を見に至る。

◉新刊紹介

△新公論(妖怪號) 三百頁の大冊篇中收むる所大噴火山三色版の口繪ヶ初め妖怪名畫二十餘種本文に入りては現代十二妖星、眼前の實業界、新聞記者の展開せる妖怪百鬼夜行の醜裝記者の乞食となるの記、河岡潮風の學校幽靈譚、松崎天民の探訪記者と死骸、及び佛國妖怪談數十種最も振へり例の万報一覽ゝ本誌の特色內外最新の思潮を一目瞭然たらしむ(本號限り一冊四十錢)京市本鄉區東片町百十一新公論社

△東京經濟雜誌(千五百八十八號) 本誌の重要記事は市原盛宏氏の「朝鮮の經濟狀態」並「貨幣制度」阪田實氏の「小銀貨分立、幣」思深龍雄子の「米券倉庫論」等なり一部十二錢(東京市京橋區彌左衛門町七經濟雜誌社)

△實業之日本(四月號) 社說「米國に對する吾人の覺悟」は米國が東洋に對する經濟的活動を細說し我帝國民に警戒を加へたり新渡戶博士の「惜まるゝ人を惜む人の心懸」大隈伯の「九州人物論」此他商國主義鼓吹の記事を以て滿誌を埋む評世家も青年も實業家も讀むべし一冊十一錢東京市京橋區南紺屋町實業之日本社

△婦人世界(第六卷四號) 鮮明なる寫眞口繪十數葉を以て卷頭を飾り記事には村井弦齋氏の「人情論」其他女流大家ア家政に關する有益談を載せ尚ほ花溪其他十數名家の見たる「春日局」井上哲次郎博士他三大家の「婦人の獨身生活」ゝ類ゝ注意すべき讀物なり(一冊十五錢東京市京橋區南紺屋町七實業之日本社)

△一錢雜誌新報知(第七號) 一部一錢(東京大畸停車場前新報知社)

△東京金物新報(第二百八號) 東京淺草區西鳥越町二(東京金物新報社)

召使れ初 第四十三回

黑法師



た鶴は德右衛門の居間を辛うじて逃れ出で、思はず擡つと息を吐きぬ、猛ら虎の腮を免れたる心地なりき、れ政の聲高く呼びたるは、奧の御客樣急御用との仰せ、すぐ御前へ參るやう、旦那樣御命令を傳へん爲のと云ふを聞きて、れ鶴はまづ容を改め、まづ心を沈着けぬ、而して急ぎ足に奧の方へ行かんとする時
「れ鶴、此處ぢやわの」と國尾は一室より呼び掛けぬ、付き添ふ女中もなく只一人濟ヶ茶い間に座を占めて、徐に香を聽き居たるなり、れ鶴はハッと心付きて
「旦那樣、これにれ越しでござりまするか」されづ〳〵次の間に手を支きたり
「そなたを見込み、折入つて話したい事あるで、先刻からこれに待てゐつた遠慮ない、近う」とれ鶴は極めて驚きたる樣なりき
「それにては恐れ多くも覺ゆまするで御用の次第、此處へ仰せ聞けござりませ」とれ鶴は膝を進めんともせず手を支きていふ
「別儀とはない、只今德兵衛にも申し聞けたが、萬事直々話し合ひ、相談を取り極め呉れよとわる、主人申す處も理、一伍一什打開けて話するが、そなたれ屋敷奉公致す心ないかのう」
「何かと思へば、敷ならぬ身を難有き仰せ、御存との不調法者ではござりますれど、れ指圖によつて、れ屋敷御奉公勤むべき身となならば、父兄も滿足、當の身の將來も幸福、此程の悅びござりませぬ」
國尾の此推擧は、れ鶴身に取ては上もない方れ屋敷へ上る事は德兵衛初めより故
「いや〳〵德兵衛は得心の上ぢや、此でござります」
「主人德兵衛存と寄り伺うござりますか、まづ此から聞き合せ見やうかと思ひまするで、少時御猶豫、半晌と經たぬ間に、一伍一什御返答申し上げる」
「御兩親へ談合して呉れやるかの」と國尾は大きく頷いて「さらば今から屋敷へ歸つて、あるべき事ぢやわの」
「さうあらともの、よし、こりやさう」
「御意の通りござりまする、何を申すも親掛りの身、一存に決し難ぬる處もござりまするで……」
「すると什麼かの、御兩親御親戚衆思召もあらせられるで、篤と相談、その上で返答しやうと云ふやるぢや喃」

もなき歎びなりき、勝た好き機會なき、例へれ末端女の賤役なりとも、武士の屋敷に奉公せば、初めよりの望み、又佐野右衛門夫婦の賴ひ居れる縁なり、殊に德右衛門理不盡の縱難、此上は否と云はゞ、手證にも爲すべき樣、恐ろしき手柄も巡らすべき樣、虎の腮を免れて、花園の中に入らんは誰の心にも否やあるべき筈なからん、さいや彼女は直ちに可との返答も爲さいりき
「御懇詞難有き仕合はせに心得まする私には父母もござりまする、親族一門の者もござりまするで、夫れ等へ談合、篤と思召の次第物語りいたした上、將來長く御厄介相爲るでござりまする」
「とはござりませうと、聞には鶴の作法もござりまするで、少時御待たせござりませ」
た鶴が云ひかけ、坐を起たんとしぬ折か、庭にやに物騷がしきの響し
「きり〳〵と……ね、きり〳〵と步まぬかよ」
德右衛門の聲は續いて起る
「た鶴は無いが、れ鶴は居ぬか、一大事ぢやに、疾う出ませ」
「もー德兵衛が呼ぶにてあらば、れ鶴は擧を驅け出でしかも知れじ、されど德右衛門の呼ぶにては、決して靜ら事もあるまじと高を括りて、遂に答へも爲さざりき



東京電報（七日）

▲朝鮮關係勅令　五日官報にて朝鮮總督府警察官署官制改正の件外朝鮮關係勅令三件公布されたり

▲日英條約發表　樞密院の御諮詢を經たる日英條約は六日午後四時發表す

▲日英條約御諮詢　天皇陛下には五日日英條約を樞密院に御諮詢あらせられたり

▲故相浦男光榮　故貴族院議員海軍中將從二位勳一等男爵相浦紀道氏生前の功勞を思召され特旨を以て祭粢料金二千圓を下賜せられ尚は五日葬儀執行に付勅使として清水谷侍從を同邸に差遣せられ白絹二疋を賜りたり

▲軍人恩給總額　本年度に於て支給せらるべき軍人恩給總額は二千九百二万七千五百五十四圓にして前年度に比し一百二萬八千九百十六圓を增加したるが右は恩給法の改正に基けるものなりと

▲小學校教員優待　文部省にては今回小學校教員俸給規則を改正し從來の最高七十五圓なりしを判任同樣九十五圓に以下之を準じて引上げ近く發表する由

▲警部長會議　內務省にては來る二十日より約五日間全國の警察部長を召集す本年は恰も彼の無政府主義者發生の後なれば左記重要議事に就て最も秘密に審議すべしと

一、危險思想防止に關する件二、同上取締に關する件三、爆發物銃器取締に關する件四、圖書出版取締に關する件五、警察官品位の選擇に關する件

▲林業獎勵規定　農商務省令を以て森林組合設立獎勵規定を定めらる其要點は森林法第六十二條第一項の規定に依り[illegible]

▲東北の暴風雨　東北地方に暴[illegible]

▲空中飛行成功　所澤に於ける陸軍空中飛行は成績良好にて日野、德川兩大尉の大成功なり

雜報

●政務總監歸京　平壤地方巡視中なりし山縣政務總監は豫定の如く五日夜歸京したり

●平南線の昨今　平南線の結氷期中に於ける昨今の影響狀況を聞くに結氷期中は鎭南浦港は結氷せるのみならず當地及び鎭南浦間の水路も杜絕しゐたるより一般貨物は凡て列車便に依らざるを得ざるの結果として随て勢ひ比較的多大なる輸送取扱ありたるも近く解氷と共に前記水運の便開けたれば昨今は前記結氷期間の夫に比して減少したる模樣なるが一般乘客は依然多少增加せりと云ふ

乘車客　四三七　乘車賃金　五〇九、八五　龍山驛着發高　五〇の分　二七

[illegible]雜貨店を設けたる[illegible]時半京城南大門外東[illegible]仁川警務部の手に取[illegible]

半島の金庫事務

各地の金庫成績

一昨日入京の日本銀行國庫局長生田貞之氏を訪ひ談を聞く曰く　併韓の結果總督府設置されたる朝鮮に於ける金庫の出入は帝國中央金庫の下に統一せられたれば此際實地に臨んで視察を遂げ併せて過去の成績を檢査せん爲め今回渡來せり而して三月一日東京を出發したるが行程の範圍頗る廣きを以て随行員は之を他に派し自分は元山より南韓各地を經て西韓に起き更に引返して當地に入りぬ如上一箇月有餘に亘る視察の結果を概說すれば彼が如く大變動の過渡期に處せるに拘はらず比較的**良好の成績を擧示**し居れり元來金庫事務は他の一般出納事務と大に其撰を異にし法規の拘束甚嚴に取扱手續頗る面倒なるは何人も知る處なり然るに不慣の事務員を以てして以上の成績を示せるは寔に多とせざるを得ず

郵便局と國庫金　郵便局をして國庫金の取扱を爲さしむるは朝鮮に特設せる制度にて此方面に於ける成績も亦大に推稱せざるを得ず該制度は舊韓政府時代より施行せるものなるが當時は之が取扱費として相當の報償を提供せしも併合後統治機關の統一により遂に廢止せられぬ故に郵便局に於ては多少迷惑の感あるも眼を國家に注げば是亦巳むを得ざる事なり抑も金庫は國家の歳出入機關なるも山村水廓到處に之を特設せば十三道に於て少くも[illegible]を要すべし然れども是れ[illegible]れば我國の如きは可成郵便局をして國庫金の取扱を爲さしむる[illegible]利に省み郵便局の**最も良好の利用機關**たるを信ず而して其實績を[illegible]以上の期待を充たしつゝあり朝鮮に於ける此の制度は**好箇の參考**に資するを得べく**母國に於ても範を朝鮮に取る**の機あるべき乎

預金制度問題　吾帝國[illegible]の歳出入は金庫制度を以て取扱はれ國庫資金と銀行資金とは嚴格なる區別を爲さゞる可からず則ち國庫所屬の現金は之を普通一般の所要に供するを得ざるを以て年度末の如き往々見せ金として制限外の發行を爲すの必要起り頗る奇態の現象を見るに到れり更に金庫制度は空しく現金を死藏するの嫌あれば宜しく預金制度に改むべしとして前年の議會にて建議案として通過を見たり此議論は最も有力なる經濟學者の唱導する處なるが大藏省に於ても既に其大理由を認め繼續的調査に着手し居れば早晩實行の機運に向ふ可し扨て朝鮮は如何かと言ふに元來預金制度なりしより併合當時も此議論起りたり然れども種々の事情に基き現行制度に統一せられたるものとす而して朝鮮の金融狀態を顧るに各方面に於ける資金の涸渇は殆んど名狀すべからずといふも一方各銀行は孰れも遊金の多きに苦みつゝあるが如くなれば從來の制度を廢し窮窟なる金庫制度に改めたるも格別痛痒を感ぜざる如く察せらる

▲各地視察餘談

公務の序を以て各地を見聞せしが朝鮮人の貧弱實に驚倒に堪へたり彼等をして今日の境遇に墮落せしめたるは一に是れ施政の暴惡之を然らしめたるものなる可けんも其大原因は**個人の無氣力**なるに依らずんばあらず吾內地に見るに如何なる寒村僻邑の農民と雖も粒々辛苦尚は足らざるの概ありて而かも漸く今日の有樣なるに朝鮮人は然らず悠遊長煙管に親み毫も向上の心掛なきを見る則ち食物なければ斷食を敢へてするのみといへる無氣力に到りては殆んど呆然たるの外なし思ふに彼等は**去勢せる人類**に過ぎず而して**生存競爭上優勝劣敗**の原則を以て眞理なりとせば同化問題の如きは言ふべくして到底行ふ可からざるに到らん故に**吾等母國人は人道に戻らざる範圍に於て彼等を遇し其將來の如きは須らく自然の成行に放任**するに如かずと云々

●廣梁鹽田工事　廣梁灣天日鹽田は昨冬來結氷の爲め工事停止中なりしが解氷と共に此頃來繼續工事開始の運となれり同鹽田の規模は一區より八區に亘り純鹽田八百六十六町步の他外廓堤防貯水池堤防白六十六町にして尚は未設計分第八區は約百二十町に餘れり既成工事は既に全部八分通を濟まし殘餘僅かに二部にて是れは本年内を以て完成する豫定なるが豫定製鹽額は約一億二千萬斤と稱し朝鮮の需要額無慮三億斤に對し約其半額弱を供給する次第なりと

▲相場電報（五日）

▲京城電鐵　同　同　六八、五〇　六八、三〇　出來不申　六七、〇〇　五九、九〇　六四、五〇

▲大阪株式　同　同　一二六、三〇　一二五、三〇〇　一二七、三〇〇　一二五、〇〇　不明　一二六、六〇

▲延四月寄十六圓六十六錢▲止六十五錢　▲五月寄六十六錢▲止七十二錢▲六月[illegible]一圓九十錢▲最高九十錢▲最安八十九　▲止九十一錢▲六月寄十二圓十六錢[illegible]

●東拓漁業權放棄（再報）　東洋拓殖會社が漁業權を放棄せしことは本紙が逸早く報道せる所にして之が原因は會社の豫期に反し大に失敗を招きしにあるや無論なるが今其次第を記さんに最初東拓の漁業區域内に多數出漁せる長崎佐賀熊本福岡の四縣漁民は東拓の酷遇虐待に堪へず當局及び有志に向け事情を具陳し東拓會社の不法行爲を聲明したる結果政府にても調査の末其曲素より東拓會社にあることを判明せしより將來の漁業權に付て東拓會社に交涉する所あり東拓會社に於ても自巳の手にて經營するの不能なるを覺りし折柄長崎縣の鈴木水產技師熊本縣の足立商工課長相携へて去月中來京直接東拓に談し終に東拓は漁業權を放棄して本年より前記四縣にて權利を繼承し經營なすことに決定せしは去月二十九日の事なるが該漁區は既に鮪鰤網の漁期たる五月を目前に控へをることとて四縣にては之れが着手の準備中なりと因に東拓の哀願により本年に限り出漁船一艘に付十五圓づゝを四縣より東拓會社に支拂ふことに協定せりと如此折角得たる漁業權をば無能のために放棄するに至りし東拓會社重役は當初の堂々たる告白に對し何の面目かある定めて穴にも入りたき心地ぞするならん

●東拓漁具の競賣　前記の如く東洋拓殖會社にては漁業權を放棄して四縣之を繼承する事となりしに就て會社にては是迄大なる資金を投じて新調せる漁具倉庫等全く不用に歸せしを以て之を四縣にて買受方交涉せしも餘り法外の高價を唱へしが爲四縣にては之れに應ぜず爲に東拓會社は終に其處分に窮せし末間島の鹽藏槽百個曳舟十艘給水船二艘其他多くの器具を競賣入札に附することに決定せり

●會議所役員會　五日午後六時より會議所役員會を開き四十四年度課金賦課方法及大聯合會準備等に付協議したるが尚七日午後六時より山口會頭出席再び協議會開催の筈なりと

●大會準備の照會　商業會議所は聯合大會準備に付き六日東京商業會議所に向け提出議案と出席人名等を至急通牒あるべき旨照會せり

●仁川商議會頭選擧　已報の如く仁川商業會議所には五日午後七時より臨時總會を開き會頭を選擧したる處出席議員一名を除くの外大多數を以て十八銀行仁川支店長[illegible]吉氏當選したるが同氏は一應[illegible]の上就任可否を返答する筈なりと尚常議員には八田利三郎、竹田津三中の二氏當選次に全鮮會議所聯合大會出席者來る三十日仁川着の豫定なれば其歡迎會開催する事に決定外二三項を議し午後十一時閉會す

●仁川道路修築工事　仁川民團にて豫て計畫中の京町一丁目（魚市場前より）同四丁目（松林里日本醬油會社前）に至る延長六百十四間の道路修築工事は四日請負入札に附し花房町湯淺鹿壽男に金千四百三十八圓三十八錢五厘にて落札す因に同工事期間は五月五日より九月十四日迄なり

▲人さまざま▼（三十三）

淵澤能惠女史

女史は岩手縣の產だ、元來男優さりの質である爲め東奥の一寒村に燻ぶつて居る事が出來ず、妙齡の頃に家を辭して新島先生の門に走り時の同志社女學部に入學した男子抱志出郷關學若不成死不歸の概を以て勉強して居る內、外人教師より此雄々しき性格を見拔かれ伴はれて米國に留學、紐育に在つて螢雪の功を積むだ、歸來新進の智識を以て福岡或は各地の女學校に聘され女性の教育に從事して居つたが、統監政治の發展に際し當地に渡り、故伊藤公爵の權門政治を體して教育方面から巾幗社會の覺醒を促がした、處が大に同情を激き王室よりも多額の內帑金を支出し女史の事業を補助されソコで明神女學校を設立した、是れ今の淑明女學校の前身である、鬢髮雪を欺かんとして居るが老いて倍々盛んに、萬難尙ほ屈せず其獻身的感化に依り天女の再來の如く敬仰されて居る、女史の如き人を學監とする同校の幸福は言ふまでもない、又是れ現代婦人界の異彩である

●交迭隊仁川着　朝鮮駐劄軍一部交迭の爲め今回十六師團の九聯隊三十八聯隊五十三聯隊中より成れる將校二十名下士卒六百名は御用船琴平丸にて六日午前七時三十分仁川入港久水府尹岩崎民長等の出迎あり上陸し當日は仁川に宿泊七日午前十時十分仁川發列車にて水原及龍山の各隊へ向ひたり

●獨國武官の出發　滯京中なりし獨國陸軍少佐ラウンテシペルヒ氏は五日午前南大門發列車にて內地觀光の途に上れり、因に同氏は東京、日光を觀光して歸途は神戶より米國に赴く筈なりと

●德富氏の禮狀　國民新聞社長京城日報監督德富猪一郎氏は同社主催の朝鮮實業觀察團に對する歡迎を謝するため鄭重なる禮狀を[illegible]本社長に寄せり

●佛國武官出發　北京駐在の佛國陸軍武官チャートン氏は日本內地視察の途次去る三日來京したるが六日安東縣へ赴けり

●村田分隊長歸京　第二回南滿衞生の恩賜金交付の爲め高陽へ出張したる村田第二分隊長は六日歸京す

●兵器檢查執行　六日午前十時より龍山軍司令部兵器廠中島大尉第一、二憲兵分隊に出張して兵器檢查を行ひたり

●山口商議會頭の歸京　東上中なりし京城山口會頭は六日午後八時南大門驛着歸京の筈也

●東拓出張所長會議　東洋拓殖會社にては六日より出張所長會議を開催せり

寺內總督論（一）

告天子

東京朝日所載

第一　總督の不評判

今日の寺內總督は、一言にして盡せば曰く不評判なる總督なり、從つて彼の政治は不評判なる政治なりと云に歸す。抑何をか不評判と云ふ、人心を得ざるの謂ひなり、何を以て彼は人心を得ざるか、彼は自己の價値を過大に見、曾て甲東が深き自信を以て立ち、曾て南洲が至誠を以て天下を蔽ひたる如く、亦彼の自信と至誠を標榜せば、以て天下を治むる易々たりと爲したればなり、自信と至誠是れ固より以て天下を治むる所以、而も寺內子に於て獨り其不評判を招くの因となりしは何ぞや他なし彼の自信と至誠とを託すべき其器が餘りに小なりしが爲なり、器の大なる者は其行ふ所自から天下の法に合し、人心を收む。而も器の小なる者は假令自信と至誠の認むべきあるも以て直に天下の法に合し、以て廣く人心を得べからず。此處に於て能く人言を容れ以て自己の足らざるを補はずんば決して眞の善政を布く可らず、況や自己の自信と至誠なるに於てをや。今日の總督政治は決して惡政にあらず而も彼が如く不評判なる所以は、過去數箇月に於る寺內子が、併合の成功に依りて聊か誇大妄想に陷りたるを以てなり。

寺內子は曾て大久保甲東が執りたる如き毅然たる態度を以て其自信と至誠とを標榜し以て日鮮人に臨まんとしたるも、明治四十四年の日本國民は此半熟の甲東を崇拜するには、餘りに不從順なり、餘りに賢明なり、而し文餘[illegible]

▲治外法權▼

御用紙の傳ふるところに因れば、寺內總督は來る二十日頃東京出發、伊勢大廟及神武天皇の御陵を參拜し、歸京の上五月上旬東京發當地へ歸任さるゝさうだ▲總督の歸任、幷はドウでも良い、併し鼓に一言を禁ずる能はざるは、彼れ總督が其多忙の身を以て、彼の藩閥元老の格で否な故伊藤公の故智に倣つて、其歸任前に伊勢の大廟、橿原の御陵に參拜することに就てだ▲大廟の參拜、御陵の參拜、臣子の分として日當然爲すべきの事だ、されはこそ時候の良い此頃には全國の上下四民が伊勢路、大和路へ續々と出掛けるのであるのだ▲總督とて一箇の臣民であるのだ、故に彼れが伊勢や大和へ行けばとて一向不思議はないのだ、併し其多忙の身を以て、而かも其歸任前態々兩所の參拜を決行すると云ふのは決して尋常ではないのだ▲愚存を以てすれば寺內總督今度の廟陵參拜の趣意は其第一が併合の奉告であるのだ、而して其第二が何かと云へば今後の半島統治に關し天照、橿原兩大神の神託を請ひ奉らんとするのだ▲總督様に東上の途次、男山八幡に參詣した、男山八幡は弓矢八幡とあつてツマリ武勇一天張りの神様であるのだ思ふにアノ頃の總督は武勇一天張りの神様だけに參詣して氣が濟んで居たのであるが、今は中々ソウ云ふ譯には行かなくなつた、ソコで伊勢や大和へ出掛けて半島統治に關する御神託を請はんとすることになつた▲總督の心掛けや大に良し、皐祖の靈必ずや宜ふらん、汝行いて吾民を愛せよ、愛せよとは身を以て半島民の幸福を圖れと云ふことであるのだ、されば總督には今後甲を脫いで、慈父の如く、公僕の如く働かねばならぬ事になるのであるのだ▲度支部が廣梁灣を視へる井の角一派の殖民地說を擊退したるは大に良し、併し紅蔘の專賣で三百萬圓の純益を夢みて居るのは愚の骨頂であるのだ見玉へ、淸人現今の進步を、今から數年たてば淸人は紅蔘に對する迷信なぞを持たぬことになるのだ▲燒酎の官營之は驚き入る、今の度支部は此半島をドコ〳〵迄も西班牙化せずは止まぬものと見ゆる▲前間恭作が退官した、操の下の翁はノベば折れる暫らく閑地に就て英氣を養ふべしだ▲雲右衛門今日の人氣は總督を壓す、知らず總督如何にして雲右の人氣を得んとするか。

▲京城手形交換高▼（此項未完）

	金高	枚數
四月六日	一三二、二四一、一〇	五四三

公人　私人

△平松市藏（辯護士）　五日入京巴城館
△米山久彌（東拓江景出張所長）　同佐藤旅館
△畑義三（全州區裁判所判事）　同天眞樓
△向阪幾三郎（水原模範場技師）　同浦尾
△笠井達次郎（東拓馬山出張所長）　同不知火へ
△小室龍之助（東拓大邱同上）　同
△有谷九二作（同沙里院同上）　同松壽館
△戒田猪澄（慶銀江景支店長）　同浦尾

▲仁川港出入船舶▼

▲高砂丸　七日橫濱より入港
▲音羽丸　同
▲隅田川丸　同　長崎より入港
▲隅田川丸　同　大連へ向出港
▲群山丸　同　神戶へ向出港
▲第二元山丸　同鎭南浦へ向出港
▲山陽丸　同　大阪へ向出港

菜根譚（抄出）二

涉世淺點染亦淺。歷事深機械亦深。故君子與其練達。不若朴魯。與其曲謹。不若疎狂。

▲南大門乘降客　乘車客　九五二　[illegible]分　下車客　九四〇

仁川の強盗就縛



呪はれし女の半生

▽堕落の動機(五)

「夫が口惜しい情けないで死なうとすれば人目にかゝり助けられては又聴く蔭口、口惜しいから死なうと思へば又探し出して助けて置いて狂言自殺だ他人騒がせの蔭口斗り、所天……兄さん所天と云はせて

頂戴……人間死ぬのは苦しくない苦しいのは手ー所天……」男の膝に手を掛けて「死にも優した牛恥を掛ばさへも出来ぬ盗で聞へよ聡けよのヒソヒソ言……夫れも他人や親類や店の者の誹りの事か、親子血肉を分けた

両親や妹までがトモするとれ前はモウ……姉様はモウ……」所天、所天「妾は胸が裂ける如だ
ア」黙然として眼を閉ぢたる男の

涙、頬傳ふて膝に載せたる女の手にバラバラと、落ちて結ぶよ露玉、熱さにぞ知る厚き同情。

「所天、所天は泣いて下さるの」薛どし男の膝に取り着きて「嬉しいワ、嬉しいワ……愛想も盡かさず却つて泣いて下さるの……今此の儘此の嬉しさを身に沁めて所天の膝をコノ儘枕に妾しや死んだら幸福だのに」物狂はしく身を悶ゆる。

「嫁と定つて居た男は明けて妾しが十七の花も散り行く夏四月、妾しとは琴の師匠へ通ひの友達山口のれきみさんと云ふのと是れ見よがしの婚禮沙汰、何うして妾が見て居られましよう、自暴からフツと氣が變つて身の暇を呉れなければ死んで終うと駄々を捏ねて世に拗ね身をも捨て鉢の此所から好んで藝妓稼業、藝で身をくう身の成る果なの」ほつれた鬢の毛を噛んで。

「左様して汚れた妾の身体、晴れて添ふのは嬉しいけれど晴れて所天の御新造には成れませんと、自分で好んで結んだ縁を自分の口から断れ断りせねばならない、妾しはマア、何んて因果なものでしよう」所天の手を握り締めて「決して所天や

れ父さんまで欺すの跣ぶの撫搦うのとお機嫌けちやアないのです、妾の如なものゝれ側へ付いて在た日には行末永く れ榮へなさる所天の出世の芽が止まる、と思ふてから此、此の、此の、苦しい思ひを耐へてれ斷りしたので御座います」堰上げる涙を呑んで「悪く思つて下さいますナ」云ひ終つて泣くよ

血を吐く思ひとは。

「強姦されたは身の淫奔からちやア無ねね窩た奴にてろ罪はあれ窩たれ前に何罪科があるものか、夫れがあるから俺の女房になれない、との遠慮なら夫ればかれどみ、要らない遠慮だよ」手の甲に涙を拂つて「モウ泣くな、今迄はれ前肩身が狭つたらうが好いた同志の二人で圓い世帶を持つ日にやあ、れどみ、れ前は吉田さんの御新造だ、例之誰れが何んと云はうとよ」と背中に掛けた手を揺つて「夫もの親類も頭を振りながら此の世は所天一人、妾し一人ちや済みませんもの」負ふた見に教へられたる浮世の潮に「ウム」と男は息詰る。「ダカラ妾は

残念なのよ」「俺も残念だ」手を取り変して。

懸て涙を收めた秀彌は「假令此の儘添ふにしても所天に立てる心の操、何處の何所に漂浪ても妾しや所天を忘れない。所天も哀れな女だとれ忘れなすつちや恨みますよ」男は黙つて首肯いた。

……………

其の事ありし其の翌日、只一通の手紙を吉田に遺して何地行きけん(つゞく)

小笠原信雄
拐帯金の費途

東洋拓殖會社員小笠原信雄が れ氣の好い重役さん達の眼の前で悠々閑々散々社金を費消つた揚句猶は地方より送り來りたる六千二百餘圓と云ふ一千萬圓と云ふ資本金から見れば誠に僅かな金錢を浚つて信州長野で豪遊中をフン捉らまつた顛末は既報の如くなるが東拓重役の言ふ處に依ると彼は月給僅かに十九圓に過ぎざる追ひ回しなるが其の追ひ回しの信雄でさへ費消うと思へば一寸の間に一萬圓近くも費消へる流石に「犬になつても大家の犬になれ」の諺も思ひ合はさるし拐帯れが六千二百餘圓と云ふ金錢を盗んだのは一月十日のことで朝鮮を出發したのは二月十六日此の間實に一ヶ月

或る女の約束の東京

家は違つたものだ夫れは現に朝鮮に加之他人の懐で遊興を窩了した大泥棒が知れずに居るが流石に大

で待合を開業せんと三月四日麻布山元町五十七番地に一戸を借受け種々の道具を買入れ一名の女中さへ雇ひ入れたと云ふ此の裏面の傀儡師は何人であらうか

天機漏らす可らずとして彼れは去月廿五日に新潟地方へ漫遊なさ云ひ觸き同夜輕井澤泊りにて長野へ入り込んだのである。然して彼れ信雄は

其金を如何に處分せしか

と云ふに朝鮮にて百圓を友人に貸し與へ千圓を知巳に預け、五千餘圓を携へて上京し待合開業の準備に千二百圓許を費やし、時計や指輪や其他衣類等に五六百圓、遊興費に五六百圓を支拂ひ殘したもので長野に於ける費消額は約二百五十圓位だ。此内に例の女中の心附やら不見轉料やら含み居るは勿論である

●癩病の搔淺ひ

龍山元町四丁目十一番地魚商加來五郎が去る五日午後二時頃一寸煙草一吹とて裏に這入るや門口にてあの魚は買つたのですかと呼ぶを耳にせしより表へ飛び出し見れば圓二十錢の鯛二尾を一朝鮮人が盗み取り二十間許りも向ふへ一生懸命の一足飛びを演じ居るより此奴と後追ひ蒐け製紙會社横にて引つ捕へ事實を糺さんと自宅に連れ歸りしも言語不通閉口の体なりしに此奴亦隙に乘じ逃走せしが遂に本町瓦斯會社前にて捕へ憲兵隊に連れ行き突き出せしにウートロより泡沫を飛ばしての癩病を起せしかば取調べも出來ず留置中

●徴兵検査成績

本年度朝鮮在住内地人の徴兵検査は所報の如く昨五日を以て其の全部を終了したるが各守備隊に於ける受檢者の總數約二千餘人にして從來の検査結果に比し其の成績頗る良好にして特に本年は一般に花柳病者少なく不合格者の多くは身長の不足或は眼病等にして之れを内地壯丁者に比すれば概して强健にして學科に於ても遥かに優等なりと云ふ

は各守備隊に於ける受檢者總數を記せば左の如し

龍山	一千〇三十四人
平壤守備隊	百九十二人
光州守備隊	九十三人
茶山同	四百四十五人
大邱同	百〇六人
太田同	百〇一人
羅南及咸興	は未詳

●官吏侮辱事件公判

千葉縣人當時江界道春川郡府内面寶島商增田信太郎(四〇)は春川郡廳に土地証明願を提出したるに該郡方遅延せし事よ 因に検査結果は目下調査中なりと

取し之を販賣しつゝあり を京畿部署に檢擧され目下取調中

◎お笄讀み込み都々逸(五)

四ッ手網

本町 浪の家

○濟華● 今●○奴
今か〳〵と待たして憎くやよそれをれわく奴服

○井門● 政●○子
まさかと思ねどれ主の出先きどうも氣になるあの梯子

○花月● 小●○高
小草なれども蘆りは高い今を盛りの花盛

○有明● 龜●○勇
れかめ面でも女房は女房ゆふに云はれぬ味がある

○松嶋● 八●○八々
主の浮氣と八々癖が妾し苦勞の絶ぬ種

◎都々逸

晩香

石に立つ矢のためしもあるになせに通らぬ此思ひ
七重八重にと咲いたる花も山吹や實のない浮氣者
明日の勤めは辛らくはないが朝の別れが氣にかゝる
孫があつても花むて氣取四十九じやもの花じやもの
蝶よ花よと育てられいて今じや奥越の客をとる
金と力のないわの方と添ふて此世が暮したい
梅に鶯竹には雀花に嵐が吹かにやよい

●惡洋服商の處刑

奈良縣人當時龍山漢江通り三丁目洋服商吉田才次郎(三〇)は大和屋なる稱號を以て洋服商を營む内服の仕繕及新調を依頼され代金及服を横領費消し京城地方裁判所に於て懲役六ヶ月に處せらる

り郡守李宜春を侮辱し拘留二十日に處せられ不服控訴し京城地方裁判所に於て公判開廷の筈

●佛爵的面に當る

河野忠次郎池上字之助佐伯福次郎倉芳之助等は朝鮮人園五名と共謀して寺院の佛像を盗

節のやさ

▲第一樓にて目下増築中なる張店も本月中には落成なす由にて竣工の曉は大々的營業をなす計畫にて目下準備中とのか專に候▲井門寺店にては大に裝飾美を加へ如何にも高價の見世附にて候の窩眞た服店に陳列なりろだに裝飾の窩眞中には隨分素敵なのが顔並べ候、近來客受けの好いのは濵月樓にて候、從つて客筋も好く評判の好い樓に候、コハ單に美妓が多いのみならず客を大事に取扱ふ仲居の待遇と萬事氣安く遊ばせる點が同樓の特色にてこれ等が人氣を得る所以と存候(籬之助)

昨今の陽氣につれて人氣の一層加わりたるは新町角廓にて候されば例に依つて見聞なしたる二三を御注進申上候

●演藝だより

●壽座 同座にては八日より有望活動寫眞開催の由なれば目下開演中の立志團一行七日は晝夜興行をなし晝は午前十時より午後五時半迄夜は從前の通りにて木戸錢は特等三十五錢の外は廿錢均一の由晝間の藝題は勇肌金六揚及び喜劇磯のあわび倚夜は土佐土産勝辨當李八場を大車輪にて演ずる由
●歌舞伎座 開幕前より來藝者瀬の如く毎夜小屋も裂けなん計りなる雲右衞門七日の讀み物は前原伊助紀州浪人仮星玄蕃の義心、赤垣源藏德利の別れ、二代目岡野金右衞門繪圖面取り(一)にて特、赤垣德利の別れは雲右衞門が十八番中の十八番さの事
●龍山各宗聯合會 龍山佛教各宗聯合會にては八日觀町法華宗興國寺にて釋尊降誕會を擧行し當夜各宗駐在布敎師の演說及び有志寄贈の琴曲筑前琵琶の餘興あり倚甘茶の接待ある由
●釋尊降誕會 初音町龍德寺に於ては九日午後三時より釋尊降誕會擧行讃佛式、講話、茶禮、餘興等ある由

◎の運勢

●四月七日 舊三月九日 五黃 丁未大安 △一白 情誼に厚く共同組合の事に成し外國事と耕へ△二黑 平和の日 婚禮協同商議組合の事に吉伯 衞生注意すべし△三碧 萬事不得要領 丁らんとす婚禮借金談尤も注意の事旅行開店起業移轉凶△四綠 總じて不事の日 取引訴訟請願中拆婚談起業開店移轉旅行凶△五黄 非運の日なり 諸般の事殊に射倖的投機的の爲を戒しむ起業旅婚談命談旅行移轉劾無し△六白 快欣の日 大凡吉手採用人の事を爲すに尤も吉△七赤 不穩の日 大抵吉入學門起業開店披露祝典尤も吉△八白 辨理改革移轉掃檣替方針替に吉家族從者の事果あり△九紫 親族のため相談若くは他の平凡

▲大阪期米

五月止六十六錢 四月止十六圓五十二錢▲六月止八十八錢▲

▲仁川米塁取引

月寄六十三錢▲六月寄八十六錢▲五月寄十……

新刊雑誌着

四月號

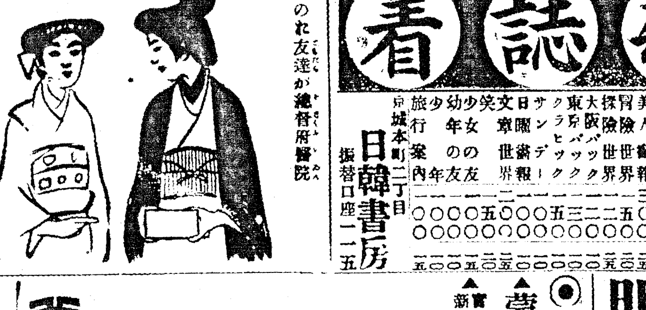
雜誌名	定價	郵税
太陽	三〇〇	二五
朝鮮	二五〇	二五
中央公論	二〇〇	二〇
新公論	一〇〇	二〇
實業之日本	一〇〇	一〇
實業界	一五〇	二〇
實業倶樂部	一五〇	一五
國民雜誌	一五〇	二〇
成功	一五〇	一五
大國民	一五〇	二〇
精神修養	一五〇	二〇
女學世界	一五〇	二〇
婦人世界	一〇〇	一〇
女學生	一五〇	一〇
婦人の鑑	一五〇	二〇
文藝倶樂部	一五〇	二〇
新小說	三〇〇	二〇
演藝畫報	三〇〇	二〇
婦人畫報	二五〇	二〇
婦人畫報	三〇〇	二〇
美人畫報	三〇〇	二〇
冒險世界	二五〇	二〇
探險世界	二〇〇	一〇
大阪パツク	二〇〇	二〇
東京パツク	三〇〇	二〇
クラブ	二五〇	二〇
サンデー	一〇〇	五
日曜畫報	一〇〇	一〇
文章世界	二〇〇	二〇
日本少年	一五〇	一〇
笑の友	一〇〇	一〇
少女の友	一〇〇	五
幼年の友	一〇〇	一〇
旅行案内	一〇〇	五

京城本町二丁目
日韓書房
振替口座一二五

廣告

博益社雜貨部

甲「アナタ何所へ」
乙「私は千良人のれ友達が總督府醫院(元大韓醫院)へ御入院遊ばして入らつしやるものですから御見舞の品を買ふと思つてチー」
甲「アラマーコンナ遠方から買つて持つて往らつしやらなくつても直ぐ病院門前の博益社雜貨部へ往つて御覧遊ばせ何でもありますて私等が氣の附かん品でもチヤンと揃つて居りますのよ直段も此邊より却て安いようです」
乙「ア、ソーですかと承知で御承知が助りました」



朝鮮紳士錄

豫約募集

朝鮮總督府警務總監部届濟(交詢社式)

定價 一部 金五圓 總クロース金文字入 菊版千ページ内外
豫約特價 前金一部 金參圓
申込締切期日 六月三十日
發刊 七月三十一日

登載事項

政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者

以上の外朝鮮總督府、中央地方各官衙、軍司令部、師團司令部、各民團、各商業會議所、各團體事務所職員録及び銀行會社、學會、教會、寺院、協會、倶樂部等の要録等を併載可致候

本社は一昨四十二年を以て第一朝鮮紳士錄發刊の企を爲し幸に江湖各位の御賛同を得て其業を完ふ致し候、爾來年を重ぬること二、此間日韓併合の事あり世は一變に新となり、從つて新舊人物の入替等も多々有之候茲に於てか本社は時世の必要に應じ改訂增補第二朝鮮紳士錄を發刊することゝ仕候思ふに本紳士錄が半島及び内地に於て信用調査其他交際取引等に汎く便用せらるべきは過去の經驗に徵して明かなるところに有之候仰ぎ願はくば江湖の各位幸に本社の微志を諒とせられ續々豫約御申込相成本社今回の擧を御援助あらんことを茲に謹みて公告仕候

三月

朝鮮京城西小門通り
京城新報社
朝鮮紳士錄出版部
電話 六〇三番
振替口座京城四五六番

眼科

(日曜及祭日は午後二時迄)

京城本町二丁目(電話三十二番)
江頭眼科醫院
醫學得業士 江頭富雄

◉生命を貴重せらるゝ仁は◉

▲蒙 朝鮮總督府警務總監部御賞上之榮

▲實用新案 防臭呼吸器

定價 特製 金六十五錢 上製 金六十錢 中製 金五十五錢 下製 金四十八錢

功能

▲本器は 一般傳染病豫防上最も功力ある唯一の實用的衞生器具なり
▲本器は 理髪の際相互の臭氣を防ぐ爲めに理髪業者諸君は是非使用せらるゝの必要あり
▲本器は 各種の病患者に接せらるゝ醫師又は看護に從事する人の必携品なり
▲本器は 塵芥の臭を放つ各種の製造工場又は食料品製造に從事する人の最も必要品なり
▲本器は 務に夏秋兩季に於ける塵芥惡臭の多き市街を通行せらるゝ方の必要品なり

用法

▲本器は 上部に伸縮器あり各自の鼻の高低大小に依り伸縮密閉自由にして使用中と雖も談話に差支なし
▲本器は 製品の種類を四種に別ち製造しあれば上下の人士を問はず何人にも使用せられ得る最も輕便品なり

諸官衙銀行會社御用達
和洋諸雜貨販賣
京城南山町二丁目三十三番戸
博益社
(電話一一七五番)

●地方販賣御希望の方は至急御申越被下度候一地方一商店を限り特約販賣契約可仕候

◉必ず本器を一刻たに忘るべからず◉







